



統計偽装でばれた  
アベノミクスの正体

## 小4女子児童が虐待死！経過と再発防止とは 必須の子どもの権利条例と感情労働者保護条例

市内の小学校4年生の女子児童(10歳)が先月24日、自宅で遺体となって発見された。父親が虐待、暴力の疑いで同日逮捕され、4日に母親も共謀の疑いで逮捕されている。

### 主な経過

亡くなるまで親から受けた女子児童の恐怖と苦痛を考えると言葉がない。救えなかったのだろうかとの思いでいっぱいだ。17年夏に沖縄県糸満市から野田市に転居後、ほどなく父親の母親に対する暴力の疑いを野田市が把握。その時、柏児童相談所(児相)も含めて児童を要保護児童として見守りが必要と認定したはず。

しかも亡くなった児童は同年11月に学校のアンケートや聞き取り

で、自分や母親に対する父親からの暴力、虐待を打ち明け、助けを求めている。

その後児童は児相に一時保護されたが、約20日後に解除されてしまった。その後、立ち入り権を持つ児相が虐待や暴力を重く見ず、学校まかせにした罪から逃れられない。

そして昨年1月、教育委員会の担当者が父親の恫喝に屈し、児童のアンケートのコピーを渡してしまったことは遺憾極まりない。教委を恫喝する父親が児童に対してどれだけ恐怖と脅威を与えているのか、教委の受ける脅威はそのときでも子どもは親から逃げられない。謝罪して済む話ではないだろうと当編集部にも市民からメールが寄せられている。少なくとも個人情報保護条例に違反したのは間違いない。

### 再発防止に必須な2条例

市長は30日、ホームページ上に「事件の検証と再発防止策に全力であた」と表明した。それではどうすればよいのか。

### 子どもの権利条例

再発防止は制度的に整えなくてはならない。まずは子どもの最善の利益を保障する国連の子どもの権利条約を条例化することだ。こ

の条約の柱の一つに子どもの命が守られ成長できる生命、生存及び発達に対する権利がある。川崎市の子どもの権利条例は参考になる(解説パンフレット表紙写真)。

そして今回の起こしてはならない事件は教委の担当者をはじめとする関係者の心にも深い傷を負わせ、彼らが今後つらい思いを抱えていくのは容易に想像できる。職員は万能ではない。このような威圧的な要求を断る条例をつくらねばならない。

### ソウル市感情労働者保護条例

この点で参考になるのがソウル市の「感情労働従事者の権利保護等に関する条例」だ。

日本では聞きなれない感情労働だが、その定義は「顧客対応など業務遂行過程において、自分の感情を抑えて、自分が実際感じる感情とは異なる特定の感情の表現をしないとイケないこと」とされている。

たとえば不当で威圧的な電話があれば電話を切ることができる。条例化されているからこそこのような対応ができる。野田市はこれまでクレーム的な住民対応に悩んできたはずだ。

この二つの条例は再発防止に必須ではないだろうか。 合掌



## 野田市もマイナンバー利用 各種証明発行のコンビニ事業開始へ

住民票や印鑑証明などがマイナンバーカードを使ってコンビニで受け取れる「コンビニに交付事業」が 12 月補正予算に入った。

これは国の事業で、18 年度から

20 年度までに各市町村が実施すべきとなっている。県内では 54 市町村のうち 23 が実施しているという。たしかに設置予算については国がまかなうとしても、その後

### 民間ではニュース 国ならこっそり

T カードを発行するポイントカード大手、カルチュア・コンビニエンス・クラブ (CCC) が、会員情報を裁判所の令状なしに捜査当局に提供していると問題となった。

しかし、ポンタでも NTT ドコモの d ポイントカードでも同様の扱いをしていることがわかった。

しかし、民間会社が警察に捜査令状なしに情報提供していることでニュースになったが、マイナンバーという国が運営する情報システムでは普通にやられていると認識したほうが間違いない。

自分は悪いことをしていないから関係ないではすまない。悪いことかどうかを決めるのは捜査当局

の維持費は自治体負担となる。

しかし、その利用率は低く、都内の自治体ではコンビニに交付を当てにして自動交付機によるサービスをやめたら、窓口が大混雑して待ち時間が長くなったと悪評が出ている事例がある。

マイナンバーカードは総背番号制につながり、国からの監視につながるとの不安があり、普及率は低い。野田市の場合は 11% 程度であり、コンビニに交付事業は無駄な投資になると議会でも共産党や市民ネットワークが反対した。

であり、管理するのは権力者側である。

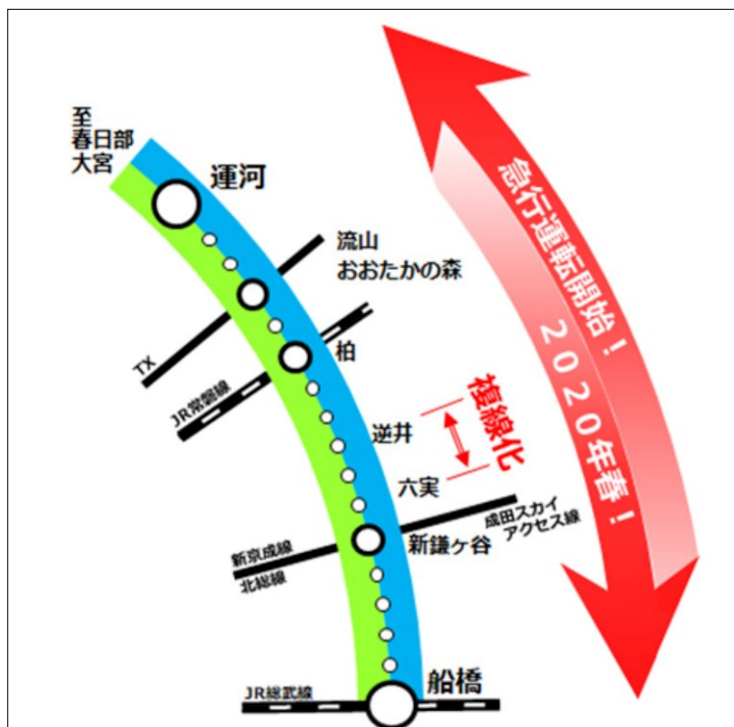
しかも今は個人番号を記入しなくてもかまわないが、いずれ健康保険証にも適用されるだろうから逃れられなくなる。

### 米韓では問題多発

マイナンバー (個人識別番号) 先進国の米国 (社会保障番号) や韓国 (住民登録番号) では問題が起きていないのか。生涯不変の番号で問題はないのか。

本人認証ができるため両国ではなりすましや詐欺が多発しており、官公庁だけではなく、企業も番号を管理するためハッキングなどで情報の流出が起きている。デジタル、ネット時代でハッキング防止は不可能と思ったほうが良

い。クレジットカード等でも暗証番号を時々変えるといわれる時代。生涯不変の番号制度は時代錯誤で、とても国民の安全など考えているとは思えない。



東武アーバンパークラインの運河・船橋間の急行運行が 20 年春から始まる。現在この間で残された六実・逆井間の複線化工事が進められている。急行停車駅は図のように他線と交差する駅となる。

トランプは武器シンゾウは国を売り

乱鬼流

反戦川柳句集から